

新学長就任インタビュー

新学長就任インタビュー！



2024年4月より学長に就任した石川義弘新学長は、横浜市立大学医学部在学中にイェール大学医学部への留学を経験。シビヤ大学医学部、ハーバード大学医学部などで教員を経験してきたグローバル派です。これまで医学部循環制御医学教授を務めた石川新学長に、就任の抱負や在任中のビジョンを語っていただきました。

「医療」「デジタル」「グローバル」という 現代のトレンドを網羅した5学部が結集

— 気候変動や紛争など世界は多くの課題を抱えています。さらに、社会のデジタル化、グローバル化もますます加速している世界をどのようにご覧になっていますか？

世界はまさに『不確実性の時代』に突入しています。これは、1977年に刊行された経済学者ジョン・ガルブレイスの著書『The Age of Uncertainty』の邦訳ですが、約半世紀を経て、今まさにそんな時代が訪れている感じがします。世の中のメガトレンドは見えるものの、マイクロトレンドは掴みづらく常に未来は予測できません。ここで言うメガトレンドとは、内閣府が提唱するSociety 5.0に代表されるようなデジタル化、グローバル化の流れなどが該当します。若い世代は、このメガトレンドを追いながら、変化に対応していく柔軟性を身につける必要があります。



実際、コロナ禍によって、社会のボーダーレス化は加速しました。オンライン会議で世界中の人々と瞬時につながる環境は、20年前の高価ながら不安定なテレビ会議システムを知る人間からすると隔世の感があります。今後、デジタル化、グローバル化はますます加ネット上の電脳空間から情報を取り出し、活用するスキルがますます求められるでしょう。それはビジネスだけでなく、教育や医療にも関係するものだと考えます。

－ 変化が加速する世界において、横浜市立大学はどのような役割を担っていくべきだとお考えですか？

日本最大の基礎自治体である横浜市にキャンパスを構える横浜市立大学は、商学部と医学部をルーツとする大学です。その歴史は古く15年に設立された横浜商法学校を起源とする横浜市立横浜商業専門学校と1944年設立の横浜市立医学専門学校（後の横浜医科大学横浜市立大学としての歴史を積み重ねてきました。その後、何度かの改組を経て、現在の5学部6研究科体制となっています。

明治初期に医学部のルーツとなる仮病院の設立・運営に携わった医師の早矢仕有的先生は、丸善（現在の丸善雄松堂株式会社）や横浜の起業家でもありました。そのアントレプレナーシップ（起業家精神）は、現在の横浜市立大学にも受け継がれています。



この『不確実性の時代』において、横浜市立大学に求められるのは、横浜の地から日本、そして世界をリードするような人材を輩出できるコンパクトなサイズが強みである本学は、少人数制の丁寧な教育が大きな特色です。そこに世界トップレベルの研究力が加わります。特許分野の研究論文は評価が高く、イギリスの高等教育専門誌Times Higher Educationの「世界大学ランキング」でも、被引用論文で毎年高い評価を得ています。

横浜市立大学には、こうした学術研究の知見を実社会につなげる仕組みもあります。医学部を持つ本学には2つの附属病院があり、基現場が強く連携しています。また、理学部やデータサイエンス学部でも医学部の研究データを駆使した共同研究が盛んです。国際商学部ではグローバルな課題に挑む最先端の研究が推進されています。

「医療」「デジタル」「グローバル」という現代のトレンドを網羅した5学部が、互いに強く連携した学際的な学びを推進していきます。

横浜市立大学で育成したいのは、
「自分の舞台を日本に留ませない人材」

ー 横浜市立大学の教育の特色はどのような点にあるとお考えですか？

横浜市立大学の特長は、なんといっても学生一人ひとりとしっかり向き合う教育です。まだ青い果実のまま入学してきた学生たちをして、社会に送り出すのが私たちの使命です。ここで力を入れたいのは、社会の「ゲームチェンジャー」となれる人材の育成です。これを持ち、常に新たな挑戦を続けられる人を指します。こうした学生を育成するために分野横断型の「ADEPTプログラム（AI Data Sci Program for Tomorrow）」や「医療イノベーション人材育成プログラム」、「起業家育成プログラム」なども設置しています。

最近の学生を見ていて思うのは、英語に対して苦手意識のある人が減ったことです。私は25年以上前から医学部の授業を英語で行って、当初は英語で質問すると固まってしまうような学生が大半でした。ところが今は、流暢な英語で返してくれます。これは、横浜市立大教育を基盤とした大学であることが社会に浸透してきた証でもあるでしょう。実際、本学は3年次進級のための基準スコアとしてTOFELなど、全国有数の高いレベルで英語教育を行っています。

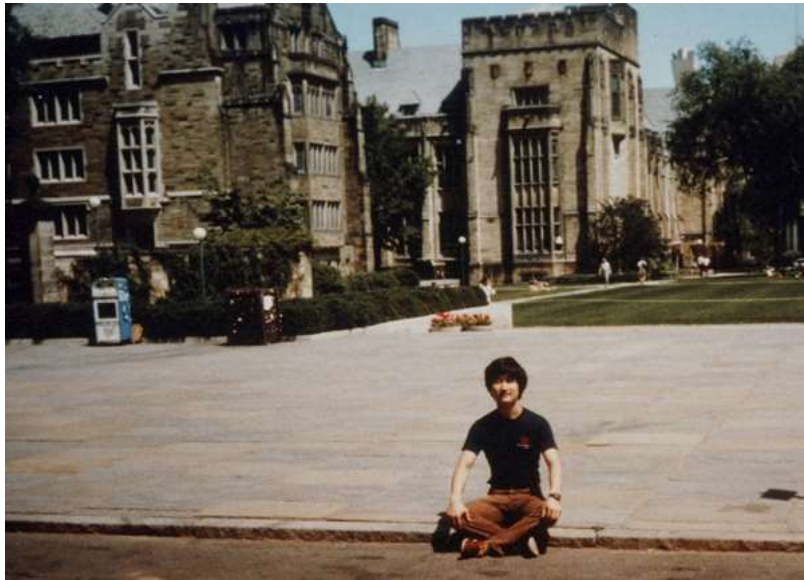


石川新学長が主任教授を務めた医学部循環制御医学講座

ー 横浜市立大学で育成したい学生像を教えてください。

このグローバルな環境で育成したいのは、「自分の舞台を日本に留ませない人材」です。社会のボーダーレス化はますます加速し、世界の日本では、AI化・ロボット化が進み、外国人労働者の受け入れも進むでしょう。外国籍の人と一緒に働くのは当たり前、英語を学ぶ... そんな時代に活躍できるのは、働く舞台として日本と世界の違いなどまったく意識しないような人材です。

私も20代の頃から留学や海外生活を経験してきましたが、やはり自分の知らない世界との出会いは常に楽しいものです。英語の環境は、もちろん大変です。異文化の中で苦労したこともあります。それでも自分の世界が広がっていく喜びに勝るものはありません。月並みですが、アメリカに行けば、小学生も英語を話します。言語の壁など気にせず、在学中からどんどん世界に飛び出して、視野を広げます。



石川学長は1980年代にマイエール大学医学部留学を経験

学部間のボーダーレス化を推進 学際的な研究環境を構築する

ー 学長在任中になし遂げたい目標やビジョンはありますか？

先ほどもお話しした通り、5学部が強く連携した学際的な学びの環境の創出です。世界トップレベルの研究実績を持つ医学部を擁する学の大きな強みです。さらに、歴史ある国際商学部は、地域との強力なネットワークを持ちます。国際教養学部、理学部、データサイは、まさに「デジタル化」「グローバル化」をテーマとした最先端の教育・研究が進められています。これらの知見を融合することで、世界をリードするような大学を目指せると考えています。

私は横浜市立大学在学中の1980年代にアメリカ・イエール大学医学部に留学した経験があり、その後、コロンビア大学医学部やハー、部などでも教員を経験しました。アメリカでは、その当時から学部間のボーダーはまったくなく、「医工連携」などの学際的な研究がした。そんな仕組みを横浜市立大学でも構築していきたいと考えています。



ー 最後に横浜市立大学に興味・関心のある高校生や保護者の皆さんにメッセージを。

横浜市立大学には、「医療」「デジタル」「グローバル」という現代の社会課題を解決する最先端の学びのキーワードが結集していま

国際都市・横浜というロケーションも大きな強みです。日本を代表する港町である横浜は、さまざまな「日本初」を生み出してきました。1859（安政6）年に、外国との自由貿易の拠点として開港された横浜では、さまざまな文化が花開きました。日本初の鉄道が開通した

浜間。洋式ホテル、洋式公園、ガス灯などが持ち込まれたのも横浜でした。ほかにもビールや私の大好物であるアイスクリームも横浜にあります。

そんな日本を代表する横浜の地から「日本初」「世界初」を生み出す学生を育てたい。まさに、世界を変える「ゲームチェンジャー」から輩出していきたいと考えています。



横浜市立大学 学長
石川 義弘（いしかわ よしひろ）

1959（昭和34）年3月生まれ。神奈川県出身。医学博士。日本及び米国医師免許登録。専門は1984年 横浜市立大学医学部医学科卒業。在学中にイエール大学医学部に留学。その後、コロナ助教授、ハーバード大学医学部助教授、ラトガース大学医学部教授などを歴任。1998年より横循環制御医学教室 主任教授。同大学院医学研究科長、医学群長、副学長、学術情報センター長を経て、2024年4月より現職。

(2024/4/1)



SNS一覧 ▶



YCUについて

- 大学紹介
- 法人情報
- 大学の取り組み
- 大学への寄付
- 学術院
- 100周年記念事業

大学の情報公開

研究・産学連携

- 研究・産学連携推進センター
- 研究ポリシー

学部・大学院

- YCUの教養教育
- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部医学科
- 医学部看護学科
- 都市社会文化研究科
- 国際マネジメント研究科
- 生命ナノシステム科学研究科
- 生命医科学研究科
- データサイエンス研究科
- 医学研究科医科学専攻
- 医学研究科看護学専攻

受験生の方へ

- 入試情報
- イベント・説明会
- 大学院受験
- 大学院入試情報

キャリア・就職

- キャリア支援センター

関連サイト

関連施設



附属病院 ▶



附属市民総合医療センター ▶



学術情報センター（図書館） ▶



先端医科学研究センター ▶

[知的財産・特許](#)

[学内の研究者の方へ（学内向け）](#)

[研究者データベース](#)

[サイトマップ](#)

[学生生活](#)

[奨学金・減免](#)

[部活・サークル](#)

[ヨコ知り](#)

[ボランティア支援室](#)

[国際交流・留学](#)

[地域貢献センター](#)

[採用情報](#)

[お問い合わせ](#)

[マスメディアの方へ](#)

[一般の方へ](#)

[バナー広告募集](#)



[このサイトについて](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright© Yokohama City University. All rights reserved.